

もみじ

-広島県山岳・スポーツクライミング連盟会報-



一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町2丁目4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail : hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL : <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 豊田和司

本号内容

- 全員協議会 (10/30 西区民文化センター)
- 八公山フェスティバル訪問 (10/17~21 大邱広域市山岳連盟)
- SC 中国ユース大会 (09/25 CERO)
- 第5回写真展 (09/24~29 NHKギャラリー)
- 中国自然保護指導員研修会 (10/05~06 隠岐)
- 県民ハイキング (10/13 宗箇山)
- インクルーシブスポーツフェスタ広島 2024 (11/16~17 エフピコアリーナふくやま)
- 安佐北消防署との合同訓練 (10/2~3 安佐北消防署)
- 庄原消防署読図講習会 (11/17 庄原消防署)
- クライミングスクール (11/17 三倉岳)
- トレッキングスクール (11/23~24 三瓶山)
- 岳連短信 (寄贈御礼、11~12月の予定)

1. 全員協議会報告

事務局 杉本 陽二

令和6年度全員協議会の結果を報告いたします。

【日程】令和6年10月30日（水）19:10~20:45

【場所】西区民文化センター

【協議内容】

- 全員協議会の位置づけについての説明（村井）
- 新イベント協議会➡資料説明（村井）
- 上半期の実績と下半期の計画、課題など（各部）

事務局（村井）

- スタッフの確保
- 会計の適正化
- 個人データーの管理の適正化

指導部（森本）

- 令和6年度の指導部事業報告の説明
 - 令和7年度の指導部事業案の説明
 - 指導部の問題点について説明

普及部（松井）

- 県民ハイキングの役割分担について説明
- 中国自然保護指導員講習会は来年度広島が担当
- 県民ハイキングは回数を増やしたい。

スポーツクライミング部（村井）

- なぜ競技となっているかの説明
- コンペに出ると7~8千円/一人はかかる。
- パラクライミングも実施している。

国際部（豊田、加登本）

- 大邱市との交流実施 ➡今年の東広島のキャンプファイア韓国から12名が参加
- 2024年は日本から八公山フェスティバルに10名参加
- 大学生の交流を来期には考えています。
- 山岳SC 辺境セミナーは大幅な赤字の為中止
- 海外トレッキングは台湾とトレッキングを検討

県東部（大田）

- 福山山岳会のみの活動の組織となっている。
- 2024/11/23の県民ハイキングでは3コースを計画している。

高体連（内藤）

- ポロシャツは1着3000円で販売する。
- 300着は岳連で販売する。（山田会長は意欲的。）

（4） インターハイの応援について（村井）

- 安芸太田町の恐羅漢山周辺にて実施する

- ・2025/8/5(火)～8/9(日)実施する。
- ・予算は3000万円もかかり実施するのに資金が不足する見込み。よってクラウドファンディングなど、又ふるさと納税で2000万円を目標に寄付を募る。

尚 寄付時には「登山競技」と指定してください。

(5) その他

JMSCA 関係

- ・登山月報についてはHPで見るようにして下さい。
- ・広島県山岳・SC連盟として300万円(団体)に加え300万円(個人)を拠出。合計600万円は全体の22%

【参加者】横山正雄(広島山岳会)、楳田繁(広島山稜会)、尾道憲二(タンネンクラブ)、山田雅昭(広島山岳会)、後藤裕司(広島大学山の会)、大田祐介(福山山岳会)、村井仁(広島県庁山の会)、豊田和司(自然と文学愛好会広島)、内藤弘泰(広島県高体連登山専門部)、新山まゆみ(広島修道大学山会)、森本覚(FCC)、宮本由美子(広島三峰会)、荻田純代(安藤縦走会)、松井秀樹(広島県庁山の会) 加登本仁(個人会員)、杉本(マツダ親和会山岳部) 以上16名



(写真提供 杉本 陽二)

2. 八公山フェスティバル訪問報告

理事長 豊田 和司

10月17日～21日、大邱広域市山岳連盟が主催する八公山フェスティバルを10名で訪問しました。交流25周年ということで、大歓迎を受けました。

八公山フェスティバルでの挨拶文

皆様こんばんは。ただ今ご紹介に与りました、(一社)広島県山岳・スポーツクライミング連盟の理事長を拝命しております豊田です。このたびは、八公山フェスティバルの開催誠におめでとうございます。また、このような素晴らしい場にわれわれをお招きいただき、誠にありがとうございます。

(一社)広島県山岳・スポーツクライミング連盟と韓国との交流は、1990年の第1回比婆山国際スカイラン大会にさかのぼります。大邱広域市山岳連盟とは、1999年に種村会長以下18名が当地を訪問したことから始まり、今年で25年目となります。その間登山活動による交流を通して、大邱広域市山岳連盟のメンバーの方々の高い精神、また高校生たちの活気あふれる言動に接し、多くのことを学ぶことができました。これは、私たちが誇りにしてよい貴重な財産だと思います。

たいへん残念ながら、この交流はコロナ禍のため一時中断しておりましたが、この6月には、車会長をはじめとする12名の鉢々たるメンバーが広島を訪問して下さり、旧交を温めることができました。これからも、このような素晴らしい交流を続けてまいりたいと思いますので、どうかよろしくお願い申し上げます。



どうもありがとうございました。



大邱訪問を振りかえって

国際部部長 加登本 仁

本隊出発日の10月17日（木）は仕事が休めず、18日（金）から合流するよう旅程を計画した。8歳の娘にとっては初めての海外。娘を無事に帰宅させることも大きな使命となった。以下は往路の記録。自力で大邱のホテルに向かうことも、思いのほかスムーズであった。

10月18日（金）15:30 広島駅発（新幹線）16:40 博多駅着（空港バス15分とアクセス良好、たくさんの韓国人が乗車）17:00 福岡空港国際ターミナル着、手荷物預け（格安のT' way航空は荷物制限が厳しく、機内持ち込みはデイバック1点のみ、キャリーバックは預ける。チェックイン開始時刻に並んだが既に長蛇の列）、手荷物検査・出国手続き、ターミナル内で夕食、19:00 福岡空港発（大邱直行便）20:20 大邱国際空港着、コンビニで菓子を買い、自宅にあった1万ウォンをくずしてバス代を用意する。事前にGoogle mapで調べておいた道順（401番バスでDong-gu Office駅へ、814番バスに乗り換えてホテル最寄りのSuseong-gu Stadium駅へ。運賃はバス乗車時に現金で支払い、大人1500ウォン、子供500ウォンで2人分2000ウォン）で無事に21:30 Hotel Raonzenaに到着。HotelでようやくWifiが繋がり、松島さん、豊田さんにメールで到着を知らせる。豪華ホテルのツインルームでシャワーも付いていた。昨年スマホを楽天モバイルに変えたが、これが海外でも追加料金や設定なしで4G通信が使える優れもの。就寝前に通訳の李京子さんが翌

日の集合時間について教えてくださった。

10月19日（土）朝7時にホテルの朝食（豪勢なバイキング）を済ませて8時にロビー集合、本隊の皆さんと合流できた。運転手の朴理事や会長夫人で通訳の崔珍姫さんの出迎えでレンタカーに乗り込み、八公山へ向かう。1時間弱で登山口駐車場に到着。水と行動食（菓子類）とキンパ弁当、地図が配られる。金理事とイ・シンスクさんが先導。トイレや写真撮影を済ませて入山。岩が多いが登りやすく、紅葉も楽しめた。途中から李英哲氏も合流した。時折小雨が降り、カッパや折り畳み傘で対応。休憩では清掃登山に来ていた自然保護団体の方々からヤンニョムチキンやマッコリが振る舞われた。スタートから2時間ほど歩いた山頂手前の分岐で雨足が強まり、山頂を目指すグループと山頂カットで下山するグループに分かれることになった。私は娘が寒そうにしていたので、下山することにした。ここでカッパのズボンを着ればよかったのだが、タイミングを逃して歩き続けた結果、足から靴の中まで水浸しとなってしまった。日帰り登山であることへの油断や、飛行機の荷物制限もあって雨対策や寒さ対策が十分でなかった。30分ほど下ったお寺で屋根の下に入り、キンパを食べる。雨はしのげても風が強く、体が冷える。森原さんが防寒着を貸してくださったり、杉本さんが温かい飲み物をくださったりしたお陰で、どうにか娘も体温を保つことができた。お寺まで車が上がってくれるとのことでの30分近く待っていたが、結局歩いて駐車場まで向かうことになった。下山組は15時頃に八公山温泉観光ホテルに到着した。部屋のユニットバスには浴槽もあり、湯をためて体を温めることができた。李京子さんには、娘と一緒に温泉に入つてもらい、それも有り難かった。16時からの八公山岳祭に向けて移動する。

雨天のためか、コロナ以降はこのスタイルなのか、八公山岳祭は大邱安全教育センターのホールで行われた。オカリナ演奏、国旗敬礼・黙祷、来賓紹介に続き、功労賞や山岳大賞の表彰、会長挨拶、祝辞が行われた。第55回目となる山岳祭で、スクリーンには先人の活動の記録や交流の記録がスライドショーで上映されており、歴史と伝統を感じる式典であった。受賞者や関係者もとても誇らしい様子で、こうした儀式

の持ち方、先人への敬意、貢献することへの誇りや栄誉の考え方など、見習いたい点が多かった。ホールを後にし、晚餐会会場に向かう。両山岳連盟と受賞者たちが集まり、キノコ鍋やチジミ、ピビンバを味わいながら交流を深めた。お土産の日本酒も振る舞われ、大邱山岳連盟の車鎮哲会長、大韓山岳連盟の Son Joong-Ho 会長による乾杯も行われた。宴会では、前回の訪問でも大変お世話になった車在祐・元会長ともお話することができ、十数年経って、子供を連れて大邱を再訪し、かつての恩人と再会できたことをとても嬉しく感じた。19:30 にはホテルに戻り、濡れた衣類を浴槽で洗い、オンドルバン（床暖房）の効いた床に広げて乾かした（朝には乾いていた）。夜、オンドルバンが暑くて寝苦しいことをフロントに伝えると、部屋ごとの調整はできないから窓を開けると涼しくなると教えてもらい、快適に寝ることができた。フロントマンは日本語が通じなかつたが、簡単な英語や、翻訳アプリ（DeepL や Google 翻訳）を介して話すことができた。便利になったものである。

10月20日（日）、ホテルの朝食開始が遅い時間であったため、先にチェックアウトをして移動の途中で朝食を摂ることになった。チゲのお店に寄ってくださり、おぼろ豆腐のチゲをいただいた。銀の箸や食器を使う、ご飯は持ち上げずに食べる、辛い物を食べて食後に甘い飲み物で口直しをする等、韓国の食文化を娘に教えることもできた（甘いコーヒーを気に入っていた）。車で移動し、高校生の登山大会会場に到着。立派なクライミング施設があり、開会式では豊田理事長による挨拶も行われた。選手宣誓の際、審判長も宣誓を行っていたことが印象的だった。ここでは大邱高体連のイ・ウォンマン先生や朴先生など、私が高校生の時からお世話になった先生方と再会し、とても感激した。競技の開始を見守り、釜山への移動を開始する。ここで崔珍姫さん達とはお別れとなり、引率は高体連の先生方に引き継がれた。途中、Spectrum というショッピングモールに立ち寄り、お土産を買うことができた。昼食はデジクッパ（豚肉のクッパ）の人気店で、行列もできていた。その後、大邱と釜山の中間地点、密陽（ミリヤン）市にある嶺南楼という史跡を観光。700 年前の建造物と密陽江を臨む散策コースはよい運動にな

った。17 時に釜山国際フェリー港に到着。大邱山岳連盟、高体連の皆様に見送られ帰路に就いた。往路の倍くらいの荷物になるほど、最後までたくさんのお土産をくださいました。乗船・出国の手続きを済ませてフェリーに乗船。2 等室に 10 名 + 1 名、合い部屋となった坂田さんとの談笑も楽しみつつ 22 時には就寝し、下関に着く。下関から広島までは松島さんのワゴン車に同乗させていただいた。

4 日間、心温まる歓迎を受け、たくさんの経験とともに旧交を温めることができた。大邱山岳連盟の方々、高体連の方々、そしてご一緒した皆様に心から感謝したい。25 年続く大邱との交流の懸け橋として、これからも役割を果たせればと思う。大邱の車会長からも大学生間交流のご提案があったと聞き、是非実現させたい。今後もご支援ご協力を宜しくお願ひいたします。

感想 加登本 彩花（加登本部長の娘さん 8 歳）

パルコン山に登山をしに行きました。とても自然でいっぱいでした。生えている食べられるキノコを食べさせていただいたり、ナツメという木の実を食べたり、天然水をはじめて外国の山で飲んだり、食べたり、感じました。

かんこくに行ってわかったことや感じたことは 3 つあります。一つは食文化です。主食は日本と同じ米で、大体ビビンバでした。はしも平たいのは食べにくくなったりするけど、ていねいに食べるしゅうかんがつくところがいいところです。二つ目は言葉です。ここにちはやありがとうや会えてうれしいなど一ぱんできなことは覚えられました。三つ目はパルコン山の自然です。ナツメを食べたり、川のようにながれている水を飲んだりしました。この 3 つを感じたり、知れて、すごくよかったです。



感想 福島 信行（福山山岳会）

初秋の稻穂の波の韓国の大邱広域市山岳連盟の八公山フェスティバルに参加する機会を得ました。長年友好関係にある広島県山岳・スポーツクライミング連盟の有志の皆様と現地にて文化、歴史交流、八公山山行と盛り沢山の内容の歓待を受け、両会が育んでこられた信頼関係の重さを感じました。今後も山を通じて青少年交流等を継続され、次の時代へしっかりとバトンが渡り、さらに大きな輪ができますように願っています。



参加者

松島宏（国際部担当副会長） 豊田和司（理事長） 加登本仁（国際部部長） 加登本彩花、杉本陽二（事務局） 森原博之（高体連O B） 李京子（個人会員・通訳）

福島信行（福山山岳会） 山本勝政（福山山岳会）
李相道（福山山岳会） 以上10名



八公山（パルコンサン）山頂にて
(写真提供 杉本陽二、李京子)

3. SC 中国ユース選手権大会 2024 報告

SC 担当 副会長 佐藤 建
8月25日（日）クライミングセンターCEROにてスポーツクライミング中国ユース選手権大会 2024 を開催しました。この大会は中国高校生クライミング大会という名称でしたが、現在では名称と参加年齢（ジュニア～ユース D）を引き下げ中国5県が持ち回りで開催しています。

今年は、中国5県、兵庫県、福岡県のクライミング施設に大会チラシと要綱を送付し参加者の希望を募りました。中国地方以外の熊本県、奈良県からの参加もあり総勢90名のエントリーがありました。

競技方法は予選競技時間60分8課題5アテンプトのコンテスト方式。これはユースボルダリング大会と同じ方法です。そして各カテゴリー上位3名による2課題ベルトコンペア方式の決勝をおこないました。予選は、各選手決勝に進もうと気合の入った登りが見られました。決勝は一人ずつ登るために緊張感が会場に伝わり、会場も大いに盛り上りました。入賞した選手には賞状とメダルが授与されメダルを首にかけられると選手はみな喜びを表していました。

この大会は中国地方の子供たちにクライミングの楽しさを伝え、競い合いより力を伸ばそうとモチベーションアップにつながるものと考えます。5年後にはより内容の濃い大会にしていきたいと思います。最後に大会を成功に導いてくれたスタッフの皆様、ルートセッターの皆様に感謝申しあげます。大変ありがとうございました。なお大会成績は広島県山岳・スポーツクライミング連盟HPをご覧ください。

4. 第5回広島県山岳・SC連盟写真展報告

福永 やす子（個人会員）

開催期日 2024年9月24日（火）～29日（日）

訪問者数 136名（1日平均22.7人）

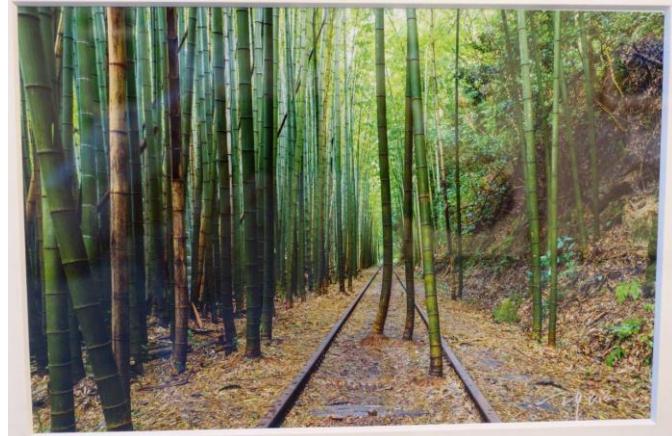
（参考；第4回176人 第3回170人 第2回181人 第1回305人）

出品数 50点（19名）

アンケート提出数93、内訳は連盟会員20・一般及び不明73

アンケートで人気があった作品は、

1位；No.21「廃線跡」18票岡本良治（広島山岳会）



1位；No.25「剣御前小屋」18票林芝好（一般）



3位；No.23「杏の花香る」16票福永やす子（広島山岳会）



4位；No.44「里の朝」15票岡谷良信（チームありんこ）



受付当番（AM:9:00～13:00 PM13:00～17:00
最終日 16:00）

9/24 AM	奥	・	豊田	PM	後藤博	・	後藤
9/25 AM	廣田	・	福永	PM	廣田	・	村井
9/26 AM	世戸	・	福永	PM	福永	・	村井

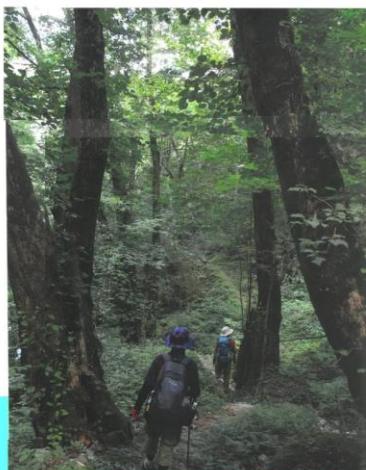
9/27 AM 奥・豊田 PM 池野・村井
 9/28 AM 福永・後藤博 PM 後藤博・後藤
 9/29 AM 江種・豊田

豊田・福永各4回、後藤博・村井各3回、奥・廣田・江種・後藤各2回、池野・世戸各1回延べ24回。

ポスター制作は今年も可部山岳会の小林敏行さんにお世話になりました。

第5回 広島県山岳・スポーツクライミング連盟

写真展



9.24(火) ▶ 29(日)

10:00~17:00 (最終日は 16:00まで)

NHK 広島放送局・ギャラリー2F

(一社)広島県山岳・スポーツクライミング連盟

展示作品一覧

No.	作品名	出品者	所属団体
1	K 2	神崎 忠男	日本山岳SC協会 開設
2	県民ハイキング 集合写真	広島県山岳・スポーツクライミング連盟	
3	雪解 (石鎚山)	江草 幸男	福山山岳会
4	新緑 (尾瀬沼)	江草 幸男	福山山岳会
5	緑の大樹 (比婆山)	江草 幸男	福山山岳会
6	秋時雨 (上高地)	江草 幸男	福山山岳会
7	紅葉 (大山)	江草 幸男	福山山岳会
8	「ご来光と雲海」	倉橋 周也	福山山岳会
9	「鹿島槍ヶ岳北峰」	越智 秀之	福山山岳会
10	「赤岳」	越智 秀之	福山山岳会
11	「間ノ岳 (2907m)」	越智 秀之	福山山岳会
12	「鶴岳と乳房雲」	越智 秀之	福山山岳会
13	夕日のマナスル西壁	池野 博昭	広島三峰会
14	パキスタン 針峰群カデ ドラル	池野 博昭	広島三峰会
15	ジョージア 南コーカサス 双耳峰ウシュバ	池野 博昭	広島三峰会
16	雷鳥の親子	森本 覚	F C C
17	シャワークライム 2024 NO.1	久保田 征治	F C C
18	シャワークライム 2024 NO.2	久保田 征治	F C C
19	シャワークライム 2024 NO.3	久保田 征治	F C C
20	はな・花・華・ハナ	京才 昭	広島山岳会
21	バス停のツララと春を待つホネ・ハウス	岡本 良治	広島山岳会
22	廃錦跡	岡本 良治	広島山岳会
23	夕陽を待つ	福永 やす子	広島山岳会
24	杏の花香る	福永 やす子	広島山岳会
25	雪原シュプール	福永 やす子	広島山岳会

No.	作品名	出品者	所属団体
26	剣御前小屋	林 芝好	(一般)
27	雲上散歩	後藤 達介	広島大学山の会家族
28	ジャンダルムを振り返る	後藤 達介	広島大学山の会家族
29	天狗の庭からの火打山	後藤 博子	広島大学山の会家族
30	「アサギマダラ」	廣田 忠彦	広島山稜会
31	「サギソウ」	廣田 忠彦	広島山稜会
32	「ヒメユリ」	廣田 忠彦	広島山稜会
33	黄山I	笹田 行雄	ひこばえII
34	黄山II	笹田 行雄	ひこばえII
35	#構造物 #順光	村井 仁	広島県山岳SC連盟
36	「トンボ休み&ヒト休み」	増田 琢二	広島県庁山の会
37	静かなる緑の住人	増田 琢二	広島県庁山の会
38	はる	詩:豊田 和司 写真:倉石 達	自然と文学愛好会広島
39	縁側におはじきひとつ山眠る	詩:豊田 和司 写真:倉石 達	自然と文学愛好会広島
40	灰ヶ峰	詩:豊田 和司 写真:倉石 達	自然と文学愛好会広島
41	光への木道	井上 ゆみ	チームありんこ
42	冬きたる	井上 ゆみ	チームありんこ
43	影の仲間	井上 ゆみ	チームありんこ
44	槍が見える	井上 ゆみ	チームありんこ
45	里の朝	岡谷 良信	チームありんこ
46	生きる	岡谷 良信	チームありんこ
47	実	岡谷 良信	チームありんこ
48	竹林	岡谷 良信	チームありんこ
49	三翁岳の紅葉と三本槍 (2023.11.8)	西部 伸也	タンネンクラブ
50	少雪の2023-2024 シーズン滑り 收め (2024.4.1 大山三ノ沢)	西部 伸也	タンネンクラブ

正；江種幸男 誤；江草幸男

5. 中国自然保護指導員研修会報告

普及部長 松井秀樹

今年の中国地区自然保護指導員研修会は、島根県の担当で、10月5日（土）・6日（日）に、島根県隠岐の島町で行われました。

本土側の七類港を9時に出発するフェリーに乗り、11時25分隠岐の島（島後）の西郷港に到着、受付後各自で昼食をとり、13時から港に隣接する隠岐自然館で隠岐ジオパークの概要について係員から説明を受けました。

14時からバスに乗り、地元のNPOの方の軽快な案内で、玉若酢命神社・億岐家住宅（樹齢2千年といわれる杉、隠岐造の神社本殿、隠岐独特の古民家建築、駅鈴）、水若酢神社（隠岐造の社殿、黒曜石を運んだ丸木舟）、白島展望台（島後を代表する海岸景観。残念ながら「しらしま」と読みます）、かぶら杉（日本海側の杉の特徴的な形をした樹齢600年の杉）を見学しました。

宿に戻った後は、各県の参加者が持ち寄った地酒も加わり、盛大に懇親会が開かれました。

翌日は、朝7時に宿を出発。バスで約1時間かけて、大満寺山の登山口にある乳房杉へ移動。大満寺山・鷲ヶ峰と縦走し、再びバスで西郷港に戻って昼過ぎに解散となりました。

来年は一周回って再び広島県での開催となります。今回の島根県に負けないように準備を進めていきたいと思います。

感想 豊田 清美（一般参加）

久しぶりの船上で、波しぶきを見つめながらこれから行く隠岐島後に思いをはせる。（いったいどんな所なのだろう）小学生に戻ったようなワクワクを感じながら、夫と娘と共に島に降り立った。

島に一歩足をふみ入れた途端感じたもの…それは、人間が決して作り出すことができない自然の存在であった。その自然の中に融合するように建てられた数々の神社。その神社を巡る中で出会った樹齢八百年を超える乳房杉（ちちすぎ）、かぶら杉、八百杉の圧倒



尚、これらの写真は、三倉休憩所で今年いっぱい展示されています。

（写真提供 村井 仁、福永 やす子）

的な存在感。その前に立つと飲み込まれそうになる感覚を味わったのは私だけであろうか....。

一泊二日では、知り尽くせない隠岐島後の魅力。

また再び訪れる事を祈念し、帰りの船に乗りこんだ私達であった。

尚 全体で50名参加し、そのうち広島県は12名参加しました。



6. 県民ハイキング報告

広島やまびこ会 丸下 節那

10月13日、広島やまびこ会の担当で、第65回県民ハイキングを宗箇山で実施しました。参加者31名（一般10名）で、秋晴れの好天気にめぐまれ、すっかり秋めいた一日でした。余裕のペースで山歩きをして、皆さんで楽しみました。

打越公園で県民ハイキング参加者が集合、開会式、ストレッチを済ませ4班に分かれて出発しました。歴史と自然がいっぱいの大原山からゆっくりのペースで宗箇山へ着くと日陰でランチタイムを楽しみました。食後、山岳連盟の豊田理事長さんのお話を聞きま

した。「戦国武将の上田宗箇が借景としてこの山に松を植えたことから宗箇山の名称になったとか」

下山は、高峰山から自然少年の家へ。閉会式を行い、山行を無事終えました。

今回の山行にご尽力を頂いた皆様に感謝申し上げます。有難うございました。



（写真提供 丸下 節那）

7. インクルーシブ SF 広島 2024 報告

副会長 村井 仁

障害のある人もいない人も一緒にパラスポーツを体験する……このイベントは、昨年、初めて東広島市をメイン会場に開催されました。今年は福山市の「エフピコアリーナふくやま」をメイン会場に開催され、パラクライミングも体験競技に加わりました。主催は（公社）広島県パラスポーツ協会（＝本連盟が賛助会員）ほかです。

1日目〔11月16日（土）〕は、開会式が開催され、山田会長、大田副会長、豊田理事長、私村井が出席しました。その後、ボッチャのエキシビションマッチがあり、楽しく観戦しました。

2日目〔11月17日（日）〕は、各競技の体験会です。今回は、私たちパラクライミングのほか、車いすバスケットボール、ボッチャ、フロアホッケー、アンプティサッカー、ウォーキングフットボール、車椅子ソフトボール、ハンザヨット、やり投げ（ジャベリッ

クスロー）の体験会、そして、ギソク（義足）の図書館の体験をすることが出来ます。

8:30 全競技のスタッフが集まっての全体ミーティング、その後、各体験会場に分かれて、10時の体験会開始に向けて準備を行います。山岳SC連盟からのスタッフは11名、これに加えて、大学生や企業からのボランティアスタッフ5名の計16名で体験会を運営します。体験会は10、11、13、14時からの全4回、50分間です。他の競技も同じようなスケジュールを組んでおり、事前申し込みを行った体験者は、最大4つの競技を体験することが出来ます。パラクライミングの体験定員は各回10名、各回とも予約で満席でした。（うち障害のある人4名、ない人36名）パラクライミングはリード壁でトップロープにより行われます。体験会では、まず、パラクラマーの高畠さんによるデモンストレーションと、体験者への競技説明と諸注意を行い、順次、壁に挑んでいただきました。

14時からの最後の回、小雨がぱらつきましたが、何とか壁が濡れるには至らず、体験会を終えることが出来ました。

今回、障害のある方の参加が4名に留まり、インクルーシブという意味合いが薄れ、健常者の体験クライミングとなった感は否めませんが、体験者は楽しめており、盛り上がりが感じられました。これだけのパラスポーツが一堂に会する機会は滅多にありませんが、スタッフは体験会の運営に精一杯で、他のパラスポーツを観覧する機会を設けられなかつたのは残念でした。

2028年のロサンゼルス・パラリンピックではパラクライミングが競技採用されます。引き続き広島県山岳SC連盟は「パラクライミングを応援」し、多様性のある社会に貢献していかなければと考えています。

来年のインクルーシブ・スポーツ・フェスタは廿日市市をメイン会場として開催予定です。



（写真提供 村井 仁）

8. 安佐北消防署との合同訓練報告

指導部長 森本 覚

日時：10/2(水) 3(木) 13:30～16:30

実施場所：安佐北消防署 会議室

実施内容：山岳救助事故を想定した救助訓練

参加隊等：広島市安佐北消防署 中島救助隊、

広島県山岳SC連盟 指導部遭難対策委員

各日2名アドバイザーとして参加

両日ともに天候不良により加坊山での救助訓練は中止となり、意見交換会の実施となりました。主に中島救助隊員のみなさまからの質問に対して我々が回答する方式で話が進んでいきました。我々が山で使用している資器材の紹介もおこないました。本年度の4月から広島市消防局と広島県山岳SC連盟は災害協力体制を構築しましたので、今回の合同訓練や意見交換会を実施することは連携を確認する場としてとても重要ですので、今後も継続して実施する必要があると考えています。加盟団体員及び個人会員のみなさまにも、今後、災害現場の活動の協力をお願いする可能性がありますのでよろしくお願いいたします。



（写真提供 広島市安佐北消防署）

9. 庄原消防署読図講習会報告



指導部部長 森本 覚

備北地区消防組合庄原消防署読図講習会の報告
日時：11/17(日) 13:00～16:00 実施場所：庄原消防署
会議室
実施内容：山岳救助事案対応能力の向上を目的とする
講習会
参加者：庄原消防署 署員

この度、備北地区消防組合様より「山岳救助事案対応能力の向上を目的とする講習会」の講師派遣の依頼があり、参加してきました。「山岳救助事案における情報収集及びナビゲーション技術」という依頼内容でした。はじめに、近年の山岳遭難の概況を参考に遭難者の様態別の資料からその原因の約4割が道迷いによるものだと説明しました。その道迷いは高山帯より森林限界下の樹林帯の山域で多く発生していると言われていて、広島県の山はそれに該当すると説明をしました。ナビゲーション技術としては、地形図の基本的な説明で、等高線やウェイポイント、磁北線の必要性な

どを説明しました。情報収集では登山向けアプリやコミュニティサイトの紹介をし、スマホ用登山GPSアプリの使い方や地図ソフトの使い方も簡単に紹介しました。地形図の印刷方法とコンパスの使い方も説明しましたし、デジタル登山届の紹介もしました。説明の後、みなさまから色々な質問があり、私自身が充実した気持ちで終える事が出来ました。後に、今回の講習を企画された担当者様から「有事の際にもプライベートでの登山でも、有効活用できる内容で皆さんにも喜んでいただけました！！なかなか 1/25,000 の地図を購入するまでに至らなかつたのですが、講習していただいた手段を使って紙ベースの地図も積極的に使っていきたいと思いました！」と感想を頂きました。平素より救助活動をされている方と会話する度にいつも思う事があります。我々登山者がしっかりと事前に計画をし登山届を出し、現地では天候や地図に気を配り事故を起こさない様にする事が一番重要な事だという事です。これから備北地区は雪のシーズンとなります。彼らが出動しなくて済む様にお互い気を付けましょう。



（写真提供 庄原消防署）

10. 第8回クライミングスクール報告

指導部 塩田 徹

第8回： 11/17(日)に実施

山域：三倉岳 中ノ岳、Bコース 7合目

人数：23名（スタッフ含）

中ノ岳と B コースのメンバーは前回と交代しました。中の岳マルチピッチのチームは 2 パーティに分かれ出発しました。2 パーティとも無事トップアウト出来ました。グレンデチームは 7 合目で門前払い.7 と池本クラック.8 と一升餅.8 にて擬似リードの講習をひとけたエリアでスラブの練習と終了点構築の講習を行ないました。今回をもって 2024 年度のクライミングスクールを無事終える事が出来ました。

感想 松浦 直幸

2024 年度クライミング講習の全日程が事故などなく無事に終了致しました。当該講習を企画してくださった岳連関係者ならびに塩田さんはじめスタッフの皆さんへ感謝いたします。

私、個人的には一昨年に続き 2 回目の参加となりましたが、最終目的である中の岳マルチをさせて頂けたのでとても感慨深いものがありました（一昨年、スズメバチの影響で中の岳マルチが中止になったので）



何年前かも記憶にありませんが登山を始めた当初三倉岳へ登り、中の岳からの眺望に感動している時、ジャラジャラと見たことのないギアを付けたクライマーが突然目の前に出てきた時の映像が未だ脳裏にあります。

「凄いなあ、格好いいなあ」と憧れの目で見たのと同時に自分には無縁の世界だと思っていましたが……。他の方にも共通するのでしょうか、登山をずっとしているとより感動や刺激を求めてアルプス遠征、雪山、沢登りなどを始める方の多いのではないでしょうか？まさに私もその一人です(笑)

身体が3つくらいあればもっとクライミングに没頭できるのですが、他にもやりたい趣味があるので一応クライミングに関しては今回の中の岳でゴールと思っています。と言いながらまた来年スクールに参加したりして(笑)

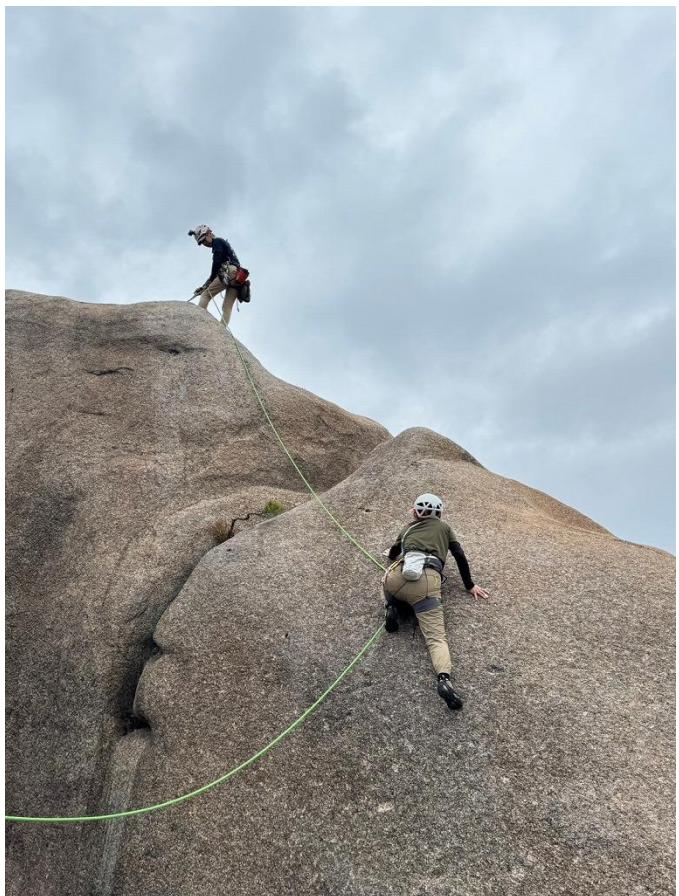
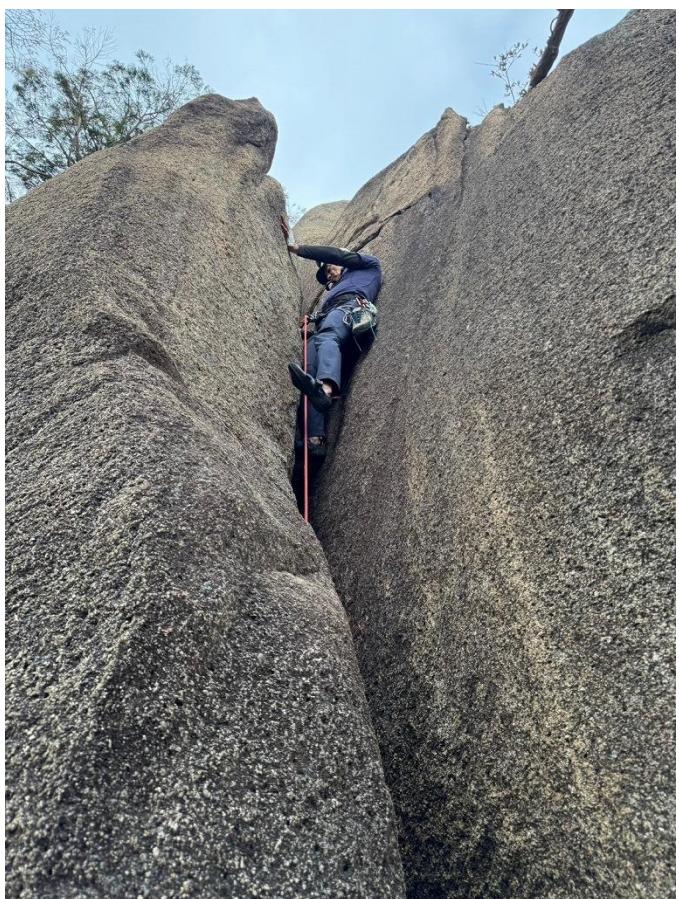
話が戻りますが、今回のコースは中の岳マルチの標準的なルートとの事でしたが、講習会での練習効果で特に問題なく踏破できました。（リードではまだ無理だと思います）これらは全て講師陣の適格なカリキュラム構成、指導の成果だと感じており重ねて感謝申し上げます。

この感想文をこれからクライミングを始めてみようかと考えていらっしゃる方が読まれるかどうかは分かりませんが、もしそのような方がいらっしゃいましたらこの講習を強くお勧め致します（危険が伴うスポーツですので、常に安全を優先し基本から学べます）

最後に皆様の安全とご健康を祈念し、私の感想文とさせていただきます。

ありがとうございました！







（写真提供 塩田 徹）

り、女三瓶付近では小雪が舞うという天気でしたので、レイヤリングの重要性を学べたと思います。

感想 江平 孝志

11月のトレッキングスクールは、『テント泊、雪山に向けて体力を強化しよう！』を目的に11/23(土)24(日)、島根県の三瓶山で実技講習を受講しました。参加者は受講生4名、指導員6名の計10名で4台の車両に分かれて、無事三瓶山姫逃池駐車場に到着。初日の計画ルートは姫逃池登山口を出発し、男三瓶山頂、各号登山口を経由し、姫逃池登山口着、沿面距離4.89km、標高差529mをフル装備で歩荷。その後、北ノ原キャンプ場へ移動し、夕食、テント泊。二日目は車で西の原へ廻り、西の原登山口から子三瓶山、孫三瓶山、大平山、女三瓶山、男三瓶山と経由し、西の原登山口で戻り、駐車場で解散という計画で遂行。

初日は気温が低い中、途中雨天となり、東屋で服装を変更。今回寒い中の登山という事で事前に色々と想像し、パーカー、フリース、インナーダウンを詰め込めたが、雨という事でゴアテックスのレインコートをベースインナーの上に着用。4月に買ったレインコートを初めて着用したが、汗をかいでも山頂まで着替えることなく歩行でき、冬の服装について自分なりに体感した。頂上付近の山小屋で休憩を取った際、ザックを下した背中から蒸気が出ているのを目の当たりし、ゴアテックスの機能を実感した。以上から冬山の服装選定基準を取得できた。その後も計画通りの下山し、キャンプ場のチェックインを終え、テント場へ移動。各自テント張りを行い、途中パッキングについての講義を受けた。出し入れの頻度の低い順で積み込み、隙間を空けない、頻度の高い服装や行動食は取り出し易いように上方へ、防水の考え方、荷重でつぶれないようタッパを活用した収納など経験に基づいたノウハウを学んだ。夕食については炊事場を使用した調理となつたが、皆さんテント内を想定した機材、食材選びのものと思われ、コンパクト化、燃焼早さ、短時間化を見て学んだ。以降のテント泊に活かしたい。

二日目は初日の倍の距離となるルートで4時に起床。夜中雨が降っており、テントはずぶ濡れ、その分を含め荷の量は大きくなる。この体験も次回に活かすノウハウである。山行の方は、頂上付近では降雪もあった

11. 第8回トレッキングスクール報告

指導部長 森本 覚

第8回：11/23(土)～24(日)

山域：三瓶山

人数：10名（スタッフ含）

11/7(木)西区民文化センターにて第8回目の机上講習をおこない冬山の基本について講習しました。23日(土)ゆめランド布野に集合して、三瓶山の姫逃池登山口に向かいました。テント泊装備を担いで男三瓶へ登ったあと名号登山口へ下山、北の原キャンプ場にてテント泊をしました。24日(日)は車で西の原登山口へ移動して、子三瓶山～孫三瓶山～大平山～女三瓶山～男三瓶山～西の原への周回ルートを歩きました。初日は小雨混りの行動でしたし、二日目は晴れたり曇った

が、エスケープも怪我もなく、全員無事に計画通り下山できた。今回はテント泊を伴う山行でしたが、1日目は疲労を感じず、食事、睡眠も取れたが、2日目の後半では外側広筋、特に左足に疲労困憊を感じ、右足首に鈍痛を感じた。歩行によるものか、荷量によるものか、荷のバランスによるものかは分からぬが、トレッキングスキル向上に向けての改善すべき項目と認識しました。帰路も無事安全に帰宅でき、使用したギア、ウェアなどに匂い、劣化しないように洗濯、洗浄を1時間掛けて行いました。ここは改善したい工程です。最後ですが距離14kmを2日間に分けて計画通り安全に歩行でき、疲労は感じたものの目的としていた体力強化は達成できたのではないかと思います。指導とこの機会を与えて頂いた指導員の方と山岳連盟への感謝とチームだったからこそ達成できた仲間の受講生の皆さんにお疲れ様の言葉と感謝を込めてありがとうございました。



（写真提供 森本 覚）

9. 岳連短信

1. 寄贈御礼

- （11/27）三原山の会『筆影』No.537（12月号）
- （12/01）福山山岳会『会報』12月号
- （11/13）広島やまびこ会『やまびこ』815（11月号）
- （12/02）広島山稜会『峠通信』785（11月号）

2. 12月～令和7年1月の行事予定

- 12/21（日）県民ハイキング下見・広島三峰会会担当（玖波行者山・杵岩）
- 12/21-22（土・日）第16回全国高校選抜SC選手権大会（埼玉・加須）
- 12/22（日）安全登山サテライトセミナー（東京）
- 12/25（水）新イベント検討会
- R 7 01/05（日）新年互礼登山（宮島）
- R 7 01/08（水）第9回運営会議

編集部より

- この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。
- 会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。
- この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。